

# 平成 30 年度 地域ケアプラザ事業報告書

## ■ 施設名

六ツ川地域ケアプラザ

## ■ 事業報告

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

### 1 全事業共通

#### 地域の現状と課題について

「第 3 期南区地域福祉保健計画」に掲げられた地域ごとの課題を解決すべく、各地区とも地域の福祉保健活動従事者を中心に、日々様々な取組がなされている。

六ツ川地区：地域福祉保健計画では、「ふれあい六ツ川」がスローガン。

野外サロン、朝市サロン、三世代交流サロン等、種々のサロン活動がますます充実し、住民の認知度も高まり、世代を越えた住民の交流の場としてだけでなく、地域の見守り活動の一環として機能している。また単一自治会においても地域の結束のための取組がそれぞれに個性を発揮しながら充実し、地域住民が日頃からお互いに声を掛け合うことのできる関係が広がっている。地域の安全パトロールに子ども達が参加したり、地区内の中・高生が長年継承されてきた地域の福祉活動に参加する等、世代を越えたつながりの機会が維持されている。

地区社会福祉協議協議会においては、高齢者食事会、福祉バス旅行、昔遊び大会や保健体操会等、長年独自に取り組み、一昨年の役員交代もあったが、スムーズに引き継がれた為現在も継続実施されている。

今年度は新たな実験的取組みとして、演芸大会や福祉勉強会が企画・実施された。福祉勉強会においては、車いすの使い方や白杖の方の誘導、高齢者の疑似体験等が行われ、演芸大会においては、地域の活動団体の発表の場がほしいとの要望に応じて、企画実施された。その中でも演芸大会は好評のため次年度も企画していく。

また昨年度は、認知症カフェ「とおりみち」が、地域福祉保健に携わってきた方たちの有志と介護・医療事業所の協働作業で立ち上がるなど新たな展開を見せ、今年度は、実施回数増加等、更なる活動の展開が模索されている。平成 22 年から実施されている六ツ川「みまもりたい」については、エリア内のコンビニエンスストア、大規模商店及び生活必需品を購入する店舗へと協力機関を拡大する働き掛けを行い、「みまもりタグ実証実験」への協力をするなど常に先進的な取組を行ってきたが、具体的な活動内容を一般の地域住民に更に周知する仕組みを確立し、一層地域のみまもりの輪を広げていきたいところである。

六ツ川大池地区：地域福祉保健計画では、「つなげよう ひろげよう 地域で支える安心なまちづくり」がスローガン。

特徴的なのは連自治会・地区社会福祉協議会の下部組織としての支え合いグループ「すみれ」の活動の順調な発展、継続がある。男性も特技を活かして地域保健・福祉の場で活躍して頂こうと上手に声掛けをし、実際に男性ボランティアの登録も増えている。連自治会主催行事や各単一自治会単位で従来から継続されているサロン活動等でも、男性が参加しやすいよう、カラオケや麻雀といったメニューも積極的に取り入れられているのも特徴で、サロン活動自体の活発化とともに、集った方たちが別の活動の担い手として参加して頂けるように呼びかけるという手法も好循環を生んでいる。

地域福祉活動を実践する担い手が更に増員されることで、今まで先頭に立って活動を引っ張ってきた方々の負担が軽減され、担い手自身が活動に楽しみを見つけ、継続した活動ができるような体制づくりが進んでいる。

また昨年度、地域の交流と健康づくりを目的として新たに健康サロン「やすらぎ」が立ち上がり、月2回定例開催されている。地域住民が常に心と身体の健康を意識しているからこそその取組で、活動の更なる発達が可能である。

いずれの地域とも、今後高齢化が益々進むなか、地域住民同士各々が、お互いに見守り、見守られながら、地域の中で具体的にどのように支え合い、つながっていけばよいかを常に考えてきた土壌がある。この考えを受け継ぎ、実際に担い手側に立って活動を牽引していける次代の担い手の発掘、増員、養成を如何に行うかが課題といえる。ケアプラザとしても、今後も新たな地域福祉保健活動の担い手獲得のための支援に力を注ぎたい。

#### (1) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

- ・施設入口に設置したチラシ配架用に配置してあるラックの見出しを、高齢者・障害者・子ども等わかりやすく分類し、利用者が参考としやすいように整備した。
- ・地区社協主催の「すくすくひよっ子」において、参加者から「卒業後（対象年齢を越えた以降）の居場所が無くなるが、とりあえずは仲間4人で月1回集まろうと決めたものの、その後の運営の仕方が分からない」との相談を受けたので、最近他の場所で立ち上がった別のサロンの存在や、広報の手段、補助金の活用法等、有益と思われる情報を提供した。
- ・民生委員の会合や自治会の集まりに積極的に参加し、地域における相談に対応した他、地域ケアプラザからの情報を提供した。
- ・貸出施設利用団体一覧を作成し、広報紙掲載、ロビーのパンフレットスタンドへの配架、ロビーへの掲示をし、最新の情報が気軽に入手しやすいように提供した。
- ・生活支援コーディネーターが中心となり、地域活動交流、地域包括支援センターとで協働して収集した地域社会資源情報をホームページに掲載。地域の社会資源情報をマップ化してより分かりやすく公開し、またブログによりタイムリーに地域情報を発信している。
- ・地域の特徴やニーズ、地域の最近のトピックス等、地域包括支援センター、地域活動交流、生活支援コーディネーターとの月に1度の5職種会議や、居宅介護支援事業所・通所介護の主任も交えた施設全体の月例介護で、情報を共有。各部門の業務上の相談にあたっての情報提供に役立てている。
- ・地域ケアプラザの窓口の他、出張相談の実施や民生委員の会合に出向いたりして相談対応や地域ケアプラザからの情報提供を行った。
- ・高齢者サロン「シルバーカルチャー」、地域向け音楽サロン「はなみずき」等で参加者やボランティアと相談を受けたり、情報提供しやすい関係づくりができています。
- ・地域で開催されたイベントや会議等に参加した際も、情報提供や相談に応じている。相談内容によっては、より専門である職種につないで継続的に支援も行っている。

## (2) 各事業の連携

- ・毎朝のミーティング時に相談内容の確認、検討事項等を包括3職種、生活支援コーディネーターと情報共有を行い支援内容の検討を行った。月に一回開催している5職種会議においても情報共有を行った。
- ・各地区の会議や民児協に参加をした際には介護保険情報や相談内容等の情報提供を行い地域への発信をした。
- ・地域包括支援センターが実施している地域ケア会議から、把握された課題や情報を地域の会議等で伝達していると共に、地域の支援体制や啓発のための事業を生活支援体制整備等で実施する形をとりつつある。
- ・5職種会議の定期的な開催により、特に地域交流が実施している自主事業等に参加をしている利用者で、介護保険等の申請が必要になりそうな利用者の情報を地域包括支援センターに繋げることによる早期の支援を行った。
- ・地域交流自主事業参加者から同参加者が認知症ではないかの相談を受け、包括と民生委員も交え当事者の今後を検討する支援につなげた。
- ・地域活動交流事業の参加利用者情報から認知症初期利用者の早期対応を行った。
- ・2月21日に、地域活動交流の自主事業で、参加者の希望が多い体操を中心とした介護予防講座を開催。また、生活支援コーディネーターとの連携により地域ニーズに合わせての出前講座も実施した。
- ・随時更新した地域資源情報をケアプラザ内で供覧、掲示もし、情報共有している。

## (3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- ・各事業とも、配置基準に従い、必要な職員の配置を行うことができた。地域包括支援センター保健師職の退任にあたり後任保健師と2ヶ月の引き継ぎ期間を設け、事業運営がスムーズに執り行われるように配慮した。
- ・安全管理・衛生委員会の企画・運営により、職員の健康管理について毎月1回トピック研修を実施。産業医の協力を得てアドバイスを頂くことで内容が充実し、職員自身の心身の健康管理の一助とすると共に、知識の向上で、業務に活かすこともできている。
- ・防災委員会の企画にて、毎月1回、短時間ながらも、月例防災訓練を実施。職員の防災意識の向上と、利用者の安全を守るための必須知識の定着を図った。
- ・外部研修・・・ステップアップのための資格取得、資格更新のための研修情報の提供、受講費用の負担、勤務シフトにも出来る限り考慮し、研修の受講がしやすくなるよう配慮した。
- ・研修情報の提供・・・各種講習・研修・セミナー等の開催情報の回覧・情報紙の掲示により、自己啓発のための情報が入手しやすくなるよう配慮した。
- ・月例の職員会議の場を活用し、全セクション職員に必要な内容を扱った研修を実施。各セクションから選抜された委員で構成された研修委員会が職員の研修受講情報や今、必要とされる知識・技術の習得を目指し、時宜に応じた内容と講師担当者を選定して実施につなげ、職員の資質向上につながるようにした。
- ・「法人理念」「地域ケアプラザに期待される役割」「個人情報保護について」と合わせ、「公正中立性の確保」についても年度当初の職員研修及び新採用・異動職員の着任時研修で取り扱い、日常の業務で意識するよう努めた。

#### (4) 地域福祉保健のネットワーク構築

- ・ 連合自治会、民生委員・児童委員協議会の定例会や、地区社会福祉協議会、老人会、各種サロン、ボランティア団体等が主催する会合、イベントにも随時参加するのはもちろん、各種イベント等の準備や片付けの段階にも可能な限り協力して顔なじみの関係を築くことで、生の情報の収集に努めた。地域への顔出しを頻繁に行うことで、地域ケアプラザからの情報を発信、提供するための時間を頂くこともできている。
- ・ 六ツ川地区見守りネットワーク「みまもりたい」、六ツ川大池地区支え合いグループ「すみれ」の企画会議に参画することで、ささえあい活動の現状を把握し、より充実すべき課題を把握することにもつながっている。
- ・ 広報紙「地域交流便」でみんなの居場所コーナーを設け、当日参加できる地域のサロン等の日程をとりまとめて掲載し、ネットワークの拡大に寄与した。

#### (5) 区行政との協働

- ・ 地区別地域支援チーム連絡会、地区別振り返り会議に参加し、取り組み重点項目、進捗状況等の確認、情報共有を積極的に行った。
- ・ 地区別地域支援チーム連絡会において、新たに立ち上がった子育てサークル「フルーツバスケット」の情報を区より得て、区、区社協、町内会長、地域ケアプラザで担当分けをして支援した。
- ・ 区主催で開催される各種研修、連携会議、事業等の実施においては、積極的に協働し、エリア内で参加者の増加を呼び掛けると共に、内容の充実に寄与するよう取り組んだ。
- ・ 区高齢・障害支援課の保健師と協働し、介護予防に関する活動が無くなった地域に対し、介護予防事業の立ち上げを勧めて実施し、元気づくりステーションへの移行体制も進めている。また介護予防に係る担い手の人材育成として、認知症予防プログラム「スリーAプログラム」についての人材育成講座を実施し、受講者をボランティアに迎え、この方々を中心に月に1回「スリーAゲーム教室」を開催するに至っている。

## 2 地域活動交流事業

#### (1) 自主企画事業

- ・ 親子のダンス教室「ぴよんぴよんダンス」、読み聞かせ「おはなしコンサート」、小学生の工作教室、お菓子作り教室を開催した。小学生の工作教室では高齢者のボランティアも来られ多世代交流の場にもなった。
- ・ 障害児・者支援事業として、毎月2回ダンス教室「ハッピーダンス」を開催した。12月にクリスマス会を兼ねての発表会を開催し、参加者のモチベーションの向上を図ると共に成長の跡を見ることができた。
- ・ 高齢者支援事業に関しては、ミニデイサービス「シルバーカルチャー」を開催し事業対象者や要支援1、2の方までの受け入れを行った。また参加者の言動を注意深く観察する中で気になる点がある場合は、生活支援コーディネーターや、地域包括支援センターの職員と連携を図り、必要な対応を図った。

- ・ 地域向けの支援事業に関しては、新たに庭木の手入れ講座やパン作り教室を開催し、開催後のアンケートでボランティア活動を推進するような内容にした。
- ・ 地域の老人クラブの会合に出向き回想法を用いた出前講座の開催や、単一自治会主催のノルディックウォーキング講座で指導をした。
- ・ 登録利用団体の新たなメンバー獲得の呼びかけも兼ねて、六ツ川スポーツ会館と共催で、ケアプラザ登録団体等の体験会をスポーツ会館で開催し、ケアプラザと馴染みのない地域住民にも、存在を身近に感じてもらうことができた。
- ・ ケアプラザロビーに自主事業の様子が分かる写真を多数掲示し、参加者はもちろん広く来館する地域住民への周知につながるように工夫した。
- ・ 毎月開催の生演奏「ミュージックサロンはなみずき」のボランティアスタッフが、スムーズに運営し自主的に反省会ができるよう支援を継続し開催した。

## (2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・ 貸出施設の予約状況をホームページに掲載し、また広報紙「地域交流便」にQRコードを載せるなどしてアクセスしやすいよう工夫した。
- ・ 貸出施設大掃除大会を開催し、参加者と一緒に掃除をして施設が社会資源であることを認識してもらい、また利用に関する質問や疑問に答えやすくし利用しやすい環境づくりをした。
- ・ 1月12日開催の貸出施設利用団体交流・発表会を地域住民も参加できる形で開催し、団体同士の顔の見える関係作り、メンバー募集の支援も兼ねることができた。

## (3) ボランティアの育成及びコーディネート

- ・ ボランティア活動中の方には、よこはまシニアボランティア事業登録研修会への参加を勧めボランティア活動意欲の向上を支援した。また、ボランティアが初めての方を対象としての入門講座も開催し、ボランティア活動の不安を取り除いて実際の活動につなげた。
- ・ ボランティア交流会を開催し、一昨年度からのボランティア交流会・懇談会での意見交換で生まれた「生演奏ミュージックサロンはなみずき」をボランティアスタッフの進行で参加者に体験してもらい、活動意欲の向上を支援した。
- ・ ボランティア希望の方の受入れをし、通所介護や自主事業への活動をコーディネートした。また、登録利用団体の手芸サークルに、「子どもお菓子教室」でのボランティア活動を勧め、待ち時間に作成するカード作りの担当を受け持って頂けた。
- ・ 4つの登録団体の麻雀サークルが、通所介護でのボランティア活動が均等にできるよう調整支援した。
- ・ 広報紙「地域交流便」にボランティア紹介コーナーを設けて順番に紹介し、活動意欲の向上を促した。
- ・ 区社協ボランティアセンターについては、「生演奏ミュージックサロンはなみずき」へ出演するボランティアの紹介を受けたり、ケアプラザの「ちょこっとボランティア」への依頼内容が、ボランティアセンターの活動の方が適していると思われるときに仲介するなど、随時連携を図っている。
- ・ 六ツ川地区社協が秋に「六ツ川演芸会」を初開催したが、ここで発表したグループに、区社協ボランティアセンターへの登録を紹介仲介し、活動の場の拡張につなげることができた。
- ・ 2月17日開催のボランティアフェスタへの発表団体を推薦し、団体の活動の場を拡張することができた。

#### (4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・毎月発行の広報紙「地域交流便」に、「みんなの居場所」「地区だより」のコーナーを設け、定期的取材をしながら開催日の周知や取材活動の報告を掲載。これを自治会町内会での回覧、掲示板への貼り出し依頼するほか、来館者、自主事業参加者などに配布するなど広く情報提供した。またホームページ、ブログにも地域における福祉保健活動団体や人材等の社会資源を掲載し、タイムリーな情報提供に努めた。
- ・地域ケアプラザロビーには、「地区だより」として、連合自治会、地区社協、単一自治会等の活動の様子を取材写真と共に掲示し、随時の更新に努めて来館者に周知した。
- ・地域の単一自治会等のお祭りや各種つどいの場にも参加し、担い手はもちろん、参加する方達と顔の見える関係作りをしながら、人材の把握に努めた。
- ・地域住民から特定の能力を有した人材(三味線を弾ける方)について問い合わせがあり、登録ボランティア、地域の活動団体の方との橋渡しを行った。
- ・地域支援チーム連絡会で共有のアセスメントシートや、地区概況シート、地区別データ集などを、ケアプラザ五職種でも共有し、地区診断、地域支援に活用している。
- ・区社協から近隣小学校の障害理解講座の情報を得て当日参加し、今後の活動に向けてのつながりができた。
- ・地域の赤ちゃん学級卒業生の子育てサークル「フルーツバスケット」の活動周知支援、また地区社協の「すくすくひよっ子」に参加した際に参加者に相談された1月11日スタートの「つくしんぼ」の活動支援をし、今後は出前講座の実施も調整していく。
- ・利用登録団体からメンバー減少の相談を受け、広報紙での団体の紹介とメンバー募集の周知、また体験会の開催をした。ロビーには、団体の一覧表を大きく分かりやすく掲示し配架もした。
- ・利用者アンケートでの自由記載による要望事項を受け、改善可能なところから順次対応を図った。
- ・広報紙「地域交流便」で貸出施設利用団体一覧表を定期的に掲載している。また個別に掲載希望があれば取材し、可能な限り掲載して周知支援をしている。
- ・貸出施設交流発表会を1月12日に、団体以外の地域住民も参加できるようにして開催し、多くの参加者を得ることができた。

### 3 生活支援体制整備事業

#### (1) 事業実施体制

- ・地域アセスメントから地域支援方針として、次の方針を立てている。①今までにないタイプの地域の居場所づくりの取組②移動支援を地域と共に考え、実践していく土壌を作る③地域の認知症の方の見守り支援体制④地域包括支援センターと共に取り組む介護予防支援。
- 以上から③・④については、地域包括支援センターと協働で取組を実施。③については、地域ケア会議での課題抽出から協議体の開催の流れに結び付け、認知症の方の地域での暮らしを考えるシリーズとして講演&ワークという形で取組を行っている④については、既に協働で介護予防体操の少ない地域にロコモ体操を立ち上げ、元気づくりステーションに移行する方向で活動支援している。
- ・地域包括支援センターと協働で、認知症予防「スリーAプログラム」の講習会を実施し、参加者からの継続希望を受け、月に1回、第2金曜日にボランティアを中心とした講座を実施できている。また、①・②については開催時に、地域活動交流・地域包括支援センターに協力をしてもらい、広報を継続、地域住民の意識の醸成に取り組んでいく。
- ・区や区社協、他の地域ケアプラザ等とのノウハウ共有については、以下の取組を行

っている。①隣接する永田地域ケアプラザと「坂が多く、移動が困難である」という同じ課題が見えていることから、協働で移動支援に関する勉強会及びワークショップを開催。②自ら得た生活支援体制整備推進のノウハウについては、区社協1層コーディネーターとは常に共有し、区・他の地域ケアプラザ等とは、必要に応じて日常の電話等での情報交換と共に、連絡会の場で定期的に情報交換・共有するようにしている。

## (2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

・ケアマネジャーからの相談や地域包括支援センター、地域活動交流の職員から得られる個別ニーズを受け、以下の課題について重点的に取り組んでいる。①認知症の方の見守り支援②高齢者の移動支援、  
以上2点について地域全体で啓発していけるように講座やワークショップ等参加型の協議の場を開催して地域の気運を高めていく（年度中に第1回目の取組を実施）。  
・エリア内における住民主体の地域活動については、サービスリスト化をし、必要に応じて地域包括支援センターを通じて、ケアマネジャーやサービス事業所等にも提供している。  
・活動をマップ化してホームページに掲載し、広く情報提供している。また、より活動を知ってもらう状況をつくっていくため、イラストや写真等を多くしわかりやすい活動集として紙面で作成する取組を開始している。  
・生活支援サービスを提供している市内事業者等の状況を広く把握するため、各種研修に積極的に参加し、引き続き情報収集に努めている。  
・地域資源のサービスリストについては、更新した後、必ず所内で共有するようにしている。エリア内で、地域住民が気軽に立ち寄りつどいとなる飲食店や買い物した日用品を一定の範囲まで配達してくれる店舗等の情報を、地域住民からも広く収集し、地域ケアプラザ職員へ還元した。相談やケアマネジメントの際に必要なに応じて活用されている。

## (3) 連携・協議の場

・六ツ川地区・六ツ川大池地区の両地区の定例会議や地域活動にできるだけ参加し、一緒に活動するなど、この1年積極的に関係づくりをしてきた成果もあり、連携や協議できる場についてある程度把握することができた。またそのような場所へ、地域ケアプラザ側からの提案がしやすい状況が徐々にできてきている。しかし、まずは地域の課題を、地域の人達自らが考えるような仕掛けが重要と考え、そのために、試験的にワークショップ等を開催して参加型の協議の場を開催することにした。認知症の見守りや移動支援について、ワークショップを年度中に1回ずつ開催。

<認知症 - 2月、移動支援 - 3月>

地域の連携・協議の場において一緒に課題解決について考えていけることを呼びかけ常に提案をしてはいるが、目指す地域像として共有するところまではたどり着いていないのが現状である。そのため、上記のようなワークショップ等参加型の協議の場を試験的に開催して様子を探っていく段階。また一部の単一町内会では、移動支援の課題があって、共に考えていきたいとの打診があったことから、具体的に移動支援に関する課題解決に向けて協議を呼びかけており、試験的に何らかのアクションを起していくことを念頭に検討してもらっている状況である。

#### (4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- ・区役所・区社協等が開催するものはもちろん、多彩な機関が主催する多くの研修に参加して情報を収集し、他の地域ケアプラザエリアの先進的な地域活動にも足を運び見学・参加させて頂く等、積極的に情報収集に努めている。
- ・生活支援コーディネーター連絡会「生活支援みなみプロジェクト」における掃除の便利グッズ・方法の収集の取組等の活動にプロジェクトメンバーとして参加しており、その活動を通じて区域として課題を考える取組を本格的に考えていく重要性を他メンバーと共有している。そのため ALL 南区（区役所・区社協・地域ケアプラザのみならず民間企業等も含め）で考えていく場として区域のリビングラボの開催等を視野に入れ、次年度に向けてメンバーと共に考察・取組を継続していく。

## 4 地域包括支援センター運営事業

### (1) 総合相談支援業務

#### ①地域におけるネットワークの構築

- ・従来からの情報に加え、地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーター、地域住民、関係事業者からの情報を踏まえ、フォーマル、インフォーマルともにサービスに関する資料をファイリングし、閲覧に供し、または相談時に使用できるようにした。
- ・複数の地域より依頼をいただき、町内会館にて地域ケアプラザの役割や業務内容等についての講座を開催した。民児協や地域の行事に参加する他に、出前講座の開催や、年4回発行した。「ほうかつ便り」にて地域包括支援センターの情報を発信している。

#### ②実態把握

- ・「統計で知るみなみ」や「南区地域別データ集」等の統計資料はもちろん、南区、区社協、地区社協、担当エリア自治会役員・住民、隣接する地域ケアプラザ等からも、地域情報の収集に努めた。また包括版地域ケア会議において、エリアの福祉保健活動従事者からも生の地域の実態を伺うことができた。
- ・地域包括支援センター、地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーターが日々の業務や関係機関・地域の自治会活動・サロン活動等に参加することで収集した最新の地域情報を、収集した都度、また月例の五職種会議においても交換し、情報を共有して「地域のいま」の実態把握に努めた。

#### ③総合相談支援

- ・包括3職種4名が相談に対応し、受けた相談は相談票を作成しファイリングして、いつでもだれでも確認してその後の対応もできるようにしている。また、必要に応じて随時はもちろん、平日毎朝実施のミーティングや区役所担当者とのカンファレンスで取り上げて他職種の視点からのアドバイスを仰ぎつつ情報を共有し、チームとして相談内容の的確な把握やよりよい支援方法の選択に努めている。
- ・相談内容に応じて必要と思われる介護保険サービス・インフォーマルサービス等の情報を提供して利用につなげる他、状況により区役所各課や医療機関、障害関連機関等とも連携し、生活支援制度・成年後見制度・障害者支援制度等の利用につながるよう対応している。
- ・継続的な支援が必要なケースや困難ケースは平日毎朝実施のミーティングや区役所担当者とのカンファレンスでも取り上げ、また別途ファイルを作成し、状況により担当ケアマネジャー、サービス事業所、区や医療関係者、民生委員や地域住民と連携しながら特に注意して支援を継続できるようにしている。



## (2) 権利擁護業務

### ① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- ・ 社会福祉士を中心に各種成年後見制度や虐待防止・消費者保護に関する研修に積極的に参加し、最新の法制度を理解し、支援に活かすよう努めた。業務においては権利擁護に関する相談に対し、区役所の他に司法書士、行政書士等の専門職とも連携して対応した。
- ・ 区役所、障害支援従事者、地域包括支援センター職員による成年後見担当部会によって多職種向けに事例検討会を開催した。地域向けに成年後見制度の内容を含めた遺言・相続講座も開催した。
- ・ 成年後見制度に関する相談については制度の説明の他、必要に応じて司法書士、行政書士等の専門職につなげた。必要に応じ申立手続に必要な受診同行も可能な限り行った。
- ・ 成年後見制度に関する相談の際は、制度の主旨や後見人の役割から始まり、誰が後見人になることができるか等、パンフレットを用いながら常に分かりやすい説明とアドバイスを心掛けた。

### ② 高齢者虐待への対応

- ・ サービス事業者から虐待に関する相談を受けた際、担当ケアマネジャーや民生委員にも日頃の状況や最近の動向を確認し、必要に応じて速やかに区高齢・障害支援課に報告し、区ケースワーカーやケアマネジャーとともに同行訪問を行った。またその後も区との定例カンファレンスにて事例を取り挙げ、担当ケアマネジャーやサービス事業者にも立会いを願って状況確認、関係者間で情報を共有して、継続的な支援を実施した。
- ・ 今年度は六ツ川地区連合エリアの民生員向けに高齢者虐待防止に関する講座を開催し、普及啓発に努めた。
- ・ サービス事業者等から虐待に関する相談を受けた場合、状況に応じて速やかに区高齢・障害支援課に報告し、可能な限り速やかに区ケースワーカーやケアマネジャーとともに同行訪問を行った。

### ③ 認知症

- ・ エリア内の認知症キャラバンメイトたちが情報交換・スキルアップできる場として、定期の連絡会を開催して活動を支援した。
- ・ 学校長の異動もあって、連続しての開催ができなかった小学校もあるが、引き続き、エリア内の小学校・中学校を訪問し、認知症サポーター養成講座の開催を提案した。
- ・ 認知症キャラバンメイト連絡会の有志と共に、子供たちの認知症理解につながるオリジナルの紙芝居を作成中であり、今後の学校でのサポーター養成講座に活用していく。
- ・ 六ツ川地区連合自治会の「六ツ川みまもりたい」と共にエリア内コンビニエンスストア等を訪問し、情報を共有、引き続きの協力を仰いだ。
- 六ツ川地区連合エリアを対象とした包括版地域ケア会議において「独居認知症の方」を取りあげ、地域住民に認知症の方と家族が安心して暮らせる地域づくりについても考えて頂くことができた。
- ・ 引き続き、民生委員、友愛活動推進員、自治会町内会長、地域住民、ケアマネジャーやサービス事業所等の各関係機関、あらたに発足した認知症初期支援チーム等と連携を取っての支援に努めた。
- ・ 六ツ川エリアの地域住民有志が開催している認知症カフェの開催情報をはじめ、認知症支援の各種情報を来館者、相談者、福祉保健活動従事者、ケアマネジャーやサービス事業所等に広く周知した。
- ・ 今年度も年4回の介護家族の集いを開催し、介護をしている家族のストレスや不安

の軽減を図ると共に、介護者同士の交流を行える場づくりを目指した。協力医にも参加を仰ぎ、医療や健康に関する話をさせていただいて内容の充実を図った。

### (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

#### ①地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・担当エリアのケアマネジャーを対象として、定期的にケアマネ交流会を開催し、地域で活躍しているケアマネジャーとの意見交換や情報提供を行った。
- ・ケアマネジャーから随時に要請があれば、その都度情報提供を行うと共に、ケアマネ交流会の場や事業所訪問時に地域インフォーマルサービス等の情報提供や、「ほうかつ便り」及び地域活動交流作成の広報誌「地域交流便」の配布を行って、地域資源の情報の普及に努めた。
- ・地域の老人会・サロンなどでの出前講座、民生委員の勉強会の際にも、あらためて地域包括支援センターの役割と共に介護保険制度や介護サービス内容の説明、ケアマネジャーの役割等を説明・周知するよう努めた。
- ・毎月開催の六ツ川大池地区民生委員主催のふれあい相談会に出席し、エリアケアマネジャーや介護保険サービス事業所についての情報提供、情報共有を行い、またエリアのケアマネジャーに対しては、同相談会の開催情報を伝えて参加を呼び掛けた。
- ・地域で開催される各種イベントや防災訓練等の情報チラシを館内に掲示し、「地域交流便」やFAXを通じてケアマネジャーや介護保険サービス事業所に周知し、参加を呼び掛けた。

#### ②医療・介護の連携推進支援

- ・エリアケアマネジャー対象の交流会にケアプラザ協力医を交え医療機関との円滑な関係性を築くための意見交換を実施した。地域ケア会議にエリアケアマネジャーや医療機関等の参加を呼びかけ意見交換の場を設定した。
- ・定期的に地域の医療機関、事業所訪問を実施、「ほうかつ便り」や「地域交流便」、各種研修等のチラシを配布して参加を呼びかけた。
- ・毎月、南区在宅医療連携拠点主催の在宅療養支援ネットワーク会事務局会議に出席し、各種会議研修の開催に参画した。また事例検討会ではファシリテータを行って協働した。

#### ③ケアマネジャー支援

- ・ケアマネジャーからの相談があれば随時に対応、必要に応じて同行訪問やカンファレンスの開催を呼び掛けて支援を行った。また、ケアマネ支援ファイルを作成し、三職種でも情報を共有して、多職種連携の上で、継続的な支援を行った。
- ・ケアマネジャーからの要請に応じて随時、サービス担当者会議に参加して、サービスの調整を支援した。
- ・ケアマネ交流会の開催時に代表的な事例を扱っての意見交換や、個別ケースの事例検討会を行って資質の向上支援を図った。
- ・区・8包括共催により新任ケアマネ研修を実施。研修後には個別の相談にも応じ、介護保険最新情報や地域の状況も織り込んで助言等の支援を行った。

#### (4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

##### 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- ・個別ケース地域ケア会議においては担当ケアマネジャーだけでなくエリアのケアマネジャーや医療機関の参加を呼び掛け、関係職種の連携を図った。
- ・開催後の振り返りや毎月定例で開催している5職種会議においても生活支援コーディネーター・地域活動交流コーディネーターとも地域課題について確認した。解決に向けて、どのように地域にアプローチしていくべきかを検討している。
- ・包括レベル地域ケア会議で浮かんできた地域課題を、まずは地域ケアプラザ内各会議において共有化を図り、また地域の会議等に参加した際に、地域住民に対しても適宜情報提供することで、他人事ではなく、我が事の課題として意識して頂けるよう、少しずつ働きかけている。

#### (5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

##### 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- ・保健師職を中心に、常に介護予防の視点を意識したケアプランの作成を行い、目標に沿ったアセスメントをし、次のケアプランにつなげるよう心掛けた。
- ・地域で利用者が参加しているサロン等を把握し、ケアプランに盛り込んでいる。リハビリ職員も参加した地域ケア会議で、個別事例を使用し、目的志向型のプラン作りが広まるよう啓発に取り組んだ。
- ・初回契約時や更新プラン作成時には、必要に応じて委託先ケアマネジャーと同行訪問して相互の情報をできる限り丁寧に提供し、適切なケアプランを立てることができるよう支援した。
- ・包括エリア内やブロック毎での介護予防支援業務に関する研修会等を実施し、ケアマネジャーの参加を促すと共に、研修内容の充実に努めた。研修会等では、ケアプラザ他職種から収集した地域のインフォーマルサービス（介護予防活動含む）等の情報を積極的に提供した。

#### (6) 一般介護予防事業

##### 一般介護予防事業

- ・地域のサロンにて、運動・栄養・口腔等に関わる講師を招いた講座を開催し、最新の介護予防の知識と実技を学ぶ機会を提供している。
- ・ケアプラザ各職種から収集した地域情報や自治会町内会長、民生委員、老人会長、友愛活動員等から収集した地域情報を総動員して地域の高齢者の状態を把握し、必要に応じて地域で開催しているサロンの紹介をするほかパンフレットをお渡しする等、情報を積極的に提供し、参加を促した。
- ・自主活動しているグループに参加し参加者の要望・課題を把握し、専門職の講師派遣をコーディネートする等、参加者のモチベーションを高めていけるよう支援した。

## 5 その他


以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

### 施設の適正な管理について

#### (1) 施設の維持管理について

- ・ 指定管理者として、公共の施設を維持管理していくことを常に意識して職務を遂行した。
- ・ 横浜市と締結した協定と仕様書に基づいて、専門業者による建物・設備の定期点検・保守を実施し、提出された業務報告書の内容を確認して、以後の適切な設備の維持・管理に役立てた。
- ・ 他に類を見ない、極めてお洒落な、横浜らしいデザインの建物である。高さ約4mと天井が高く、特殊ガラスの活用で太陽光が溢れんばかりに注ぎ込む、とても明るい施設であり、その特性が常に発揮されるよう、カーテンの開閉を適宜行い、また庭木の管理も継続して実施し、訪れる住民の憩いの場としての環境を整えることを意識した。
- ・ 平成12年の開所以来19年が経過しており、施設設備の全体的な老朽化は否めないが、設備や器具類の不備、不具合等、利用者から頂戴した情報、要望については、区役所、市役所と連携を取って可能な限り早急な改善に向けて対応した。
- ・ 職員による施設巡回作業を少なくとも日中1回、夜間2回以上実施して、月1回の設備管理業者点検、管理者である所長の自主点検と合わせ、危険箇所を含め破損・故障箇所の早期発見を行い、必要な修復を行った。
- ・ 多くの利用者が訪れる場所として、日々の清掃、感染症の予防に配慮することで、快適安全な使用環境を維持した。産業医と共に月に一回の巡視を通じて施設内の危険箇所・不具合箇所の発見に努め、より快適な施設設備となるよう改善を図った。
- ・ 節電に努めながらも、施設内を明るく、清潔に保ち、利用する方々が気持ちよく過ごせるよう日々の環境整備を心掛けた。

## (2) 効率的な運営への取組について

- ・ 法人理念、事業目標に基づき地域の福祉拠点施設として、地域包括支援センター・地域活動交流を中心に、各事業が協力・連携し、24時間、365日地域の方々の生活支援に当たった。
- ・ 勾配の急な坂の上という立地条件にありながら、コーラス、健康体操、太極拳等、自主事業から自主活動化したグループが地域に根を張り、定期活発に利用して下さっている現状がある。しかしながら、特に高齢者がアクセスしづらいことは否めず、そのため介護家族の懇談会や高齢者の食事会には、自動車を用意して送迎を行い、利用の促進につなげた。
- ・ 貸館利用者懇談会及び交流会を開催し、各利用団体がどのように活動しているのかを相互に理解して頂くことで、お互いに気持ち良く施設を共用して頂けるよう働き掛けた。また各々が日頃実施しているボランティア活動の状況等を共有し合うことで刺激を受け、以後の活動の展開に活かすことができている。
- ・ 年に1回の利用者アンケートの結果は館内に掲示すると共に、運営協議会で利用状況を報告し、委員の皆様からも意見を頂戴し、施設運営に活用した。
- ・ 施設自主事業に関する広報（PR）の主な手段として、定期的な広報誌の発行やチラシの作製を行い関係機関・町内会への各戸配布をし、地域住民への広報活動を行って利用の促進につなげた。
- ・ ホームページをリニューアルし、またブログを開設して適宜更新情報を掲載することで、地域の福祉保健活動の紹介や新事業に関する情報をよりタイムリーに発信することができてきている。
- ・ 夜間に行われる自主事業や自主活動団体参加者に対し、駐車場の利用制限をなくし、建物脇の通路を開放し、気軽に来られるようにした。
- ・ 施設出入口に、総合案内（施設案内、各種事業の紹介、役割等）を記したパンフレットを配置し、毎月1回、カラー写真を多数掲載した「地域交流便」に情報を掲載して各自治会掲示板への掲示を依頼。また回覧板で各戸閲覧の協力を依頼し、広報した。また自主事業は、事業カレンダーの館内への掲示、ホームページ上での自主事業参加者募集情報の掲載を随時実施して参加者を公募した。自主活動に関しても、主催者からの要望に応じ、可能な限りで参加者募集の記事を掲載して利用者の増加を図った。
- ・ 毎月開催されている地域の連合自治会長会、民生委員児童委員協議会に出席して施設の利用案内、事業紹介を随時実施した。
- ・ 来館者が通る通路と事務室が近いために、事務室に在籍する職員は来館者に進んで挨拶するよう励行し、気軽に、気持ちよく立ち寄れる施設であることを地域住民の意識に定着させた。

### (3) 苦情受付体制について

- ・ 福祉保健活動の拠点としての地域ケアプラザの運営にあたって、利用者のニーズを把握してサービスの向上に反映、改善させていくことは、サービス提供の初めの一歩であり、施設を活性化させていくことと考える。苦情は、サービスの質の向上に向けた取り組みを行う為の貴重な情報源と捉えて日々の運営に臨んだ。
- ・ 来館者が通る通路と事務室が近いこともあり、事務室に在籍する職員は来館者に進んで明るい挨拶をするよう意識し、コミュニケーションの取りやすい、利用者からの要望を受けやすい環境を整えるよう努めた。
- ・ 施設内2ヶ所にご意見箱（アンケート箱）の設置を行い、苦情や意見・要望等の出しやすい環境を整えた。
- ・ 苦情受付担当者・苦情解決責任者・苦情解決第三者委員（法人本部との共同設置）の設置を行い、苦情受付体制・フォロー図の施設内掲示をするとともに、利用契約時には、公的機関に対しても苦情の申立てができる旨の丁寧な説明を実施した。
- ・ 利用者のニーズの把握にあたっては、事業ごとに、サービスについての満足度調査を実施し、要望や苦情を把握すると共に、結果を集計、分析して、結果を館内に掲示した。職員にとっても利用者から何を求められているかを意識し、改善に努めるきっかけになっている。

### (4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・ 防犯対策として、安全な管理運営実施の為、夜間の職員不在時もセキュリティ会社との機械警備契約を行い、施設の安全管理に努めた。敷地内要所に人感センサーLEDライト等を設置し夜間帯の防犯管理体制も強化した。
- ・ 防災委員会が主催し、毎月1回、短時間ではあるものの勤務全職員が参加しての月例防災訓練を実施した。内容としては、職員点呼訓練、119番通報訓練、消火器訓練等、繰り返して実施することで効果が期待される訓練の実施や、特別避難場所の運営と地域防災拠点との連携について、職員緊急時連絡網の確認と更新、避難経路の確認や熱感知器、煙探知機の機能について等、職員の防災に対する意識の向上と、利用者の安全を守るための知識の定着を目的として実施した。
- ・ 年に2回、消防署職員・防災設備業者に協力を仰ぎ、総合防災避難訓練を実施した。
- ・ 職員による施設巡回作業を少なくとも日中1回、夜間2回以上実施して、防犯、防災体制を徹底した。
- ・ 緊急時を想定し、施設内利用者数を確実に把握する為、日々、来訪者が施設への出入りに際して利用表に自主的に『チェック』していただくことでの利用者数把握への協力をお願いした。
- ・ 『安全管理マニュアル』を整備し、また防災委員会と研修委員会の共催により、心肺蘇生法、AED使用法の研修を実施して利用者の急変時の対応に備えた。

#### (5) 事故防止への取組について

- ・ 施設を利用される方々に安心して質の高いサービスを利用していただくため、全職員が意識して事故防止に取り組んだ。
- ・ 各事業から選抜した職員で構成する安全管理・衛生委員会と防災委員会を設置し、組織的かつ効果的な事故防止・対応体制づくりに努めた。
- ・ 安全管理委員会では、日頃よりリスクへの気づきを高めるため『事故防止マニュアル』の活用を行い、「ヒヤリハット報告書」で挙げた事例を用いて、事故防止の啓発を行った。
- ・ 特に直接身体介護業務に当たり、危険要因の多い通所介護事業においては、朝夕のミーティング時に利用者の状況把握を行い、直近の情報を共有し、事故防止についての確認を行った。送迎・移動・入浴・昼食・活動中とそれぞれの場面におけるリスクの洗い出しを行い、事故の予防に努めた。
- ・ 事故発生時には、原則24時間以内に事故検証会議を開催し、事故の原因・課題分析を行い、再発防止策を講じて共有化を図った。

#### (6) 個人情報保護の体制及び取組について

- ・ 個人情報基本方針・個人情報の利用範囲を施設内に掲示、個人情報保護に関する全体研修を実施し、個人情報の取扱いを慎重に行い、漏えい防止・保護に努めた。
- ・ 自己の職務に関する事のみならず、知り得た情報に守秘義務があることを、雇入れ時はもちろん、年度当初の研修の実施で全職員が再度確認した。
- ・ 個人情報を適正に管理するため、事務作業に際し、離席時のコンピュータのロック、コンピュータや個人情報の含まれた書類等の施錠保管、書類廃棄の際のシュレッダー利用の徹底、コンピュータ内の個人情報ファイルへのパスワードの設定等を徹底し、個人情報を適性に管理した。
- ・ ボランティアの受入れにおいても個人情報保護について説明、書面で守秘義務の確認を行った。

#### (7) 情報公開への取組について

- ・ 法人の運営状況・自主事業を含む最新情報の提供を行うために、ホームページを開設、充実させ、利用者が必要とする情報の公開に努めた。
- ・ 施設の広報誌『地域交流便』を発行し（毎月1回－年間16,800部）地域・施設の最新情報の提供を行うことにより施設機能の利用促進につなげた。
- ・ 施設の事業計画・事業報告の閲覧・決算書を施設内に掲示し、情報の公開に努めた。
- ・ 介護サービス情報公表の調査を実施し、情報を公表した。
- ・ 保有情報の公開請求に備えて策定した六ツ川地域ケアプラザ情報公開規程を職員間に周知し、個人情報の保護に配慮しつつ、情報公開の体制を整えた。

(8) 人権啓発への取組について

- ・ 横浜市社会福祉協議会高齢福祉部会地域ケアプラザ分科会の人権研修「こどもの人権」を受講した所長からの伝達研修として、職員向けの人権啓発研修を行った。また併せて「やまゆり園事件から考える」と題して、事件に係る新聞紙面等を題材として意見交換しながら、障害を抱える方の理解や人権について皆で考えた。

(9) 環境等への配慮及び取組について

- ・ 職員全員にゴミの分別・減量・リサイクル・排出手順についての周知を行い、施設内でのゴミの減量はもちろん、職員個々人が一市民としてヨコハマ3R夢プランの趣旨を理解し、家庭及び地域でも一般廃棄物の減量化に努めることができるように配慮した。
- ・ 施設内にゴミ減量を促すポスターを掲示して、利用者及び職員の私用ごみの持ち帰りを励行し、ごみ減量化に努めた。
- ・ 使用していない電化製品の電源プラグは抜いておく、職員は衣類で調節し、空調機器の使用を控える、照明は必要最小限にする等、地道な節電を意識することで温暖化防止の一助とした。



## 介護保険事業

### ● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

#### 《職員体制》

保健師職（看護師）	常勤 1 名
社会福祉士	常勤 2 名
主任介護支援専門員	常勤 1 名
介護予防支援プランナー	非常勤 1 名

#### 《目標に対する成果等》

六ツ川地域包括支援センターエリアの要支援者等が、円滑に、自立した生活支援のサービスを受けられるよう、目標志向型のケアプラン作成サービスの提供を行った。又、介護予防事業の紹介や参加で重度化防止に務めた。包括職員の姿勢としては、ご利用者が自分らしく住みなれた地域で安心していつまでも暮らしていけるような地域づくりに向けて地域ケア会議等で地域と連携した。

#### 《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 今期の実費負担はなし



#### 《その他（特徴的な取組、PR等）》

地域住民と共に孤立防止・閉じこもり防止を目的とした見守りネットワークを構築するため、企画運営会議に参画、協働を行った。

#### 《利用者実績》

【単位：人】

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
230	232	238	244	235	227
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
228	230	225	237	233	237

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

ケアマネージャー 常勤専任 2 名 常勤兼務 2 名

《目標に対する成果等》

地域の高齢者が自立した日常生活を営むことができるよう「介護予防」「重度化予防」の視点に立ち、ケアプランを作成した。

地域の方や地域包括支援センターとの連携に努め、地域の独居高齢者の支援の強化を図り、処遇困難ケース等の支援も行った。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 居宅介護支援計画作成費・サービス調整について実費負担はなし
- 今期の実費負担は無し
- 

《その他（特徴的な取組、PR等）》

地域の民生委員との継続的情報交換を行うために、地域包括支援センター主催の勉強会、交流会に積極的に参加するなど、情報共有に努めている。

認知症研修、医療連携研修に参加して、専門職としての資質の確保、向上に努めている。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
76	81	76	78	77	74
10月	11月	12月	1月	2月	3月
76	76	75	80	84	88

● 通所介護・認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 送迎
- 健康管理・相談
- 入浴・入浴介助
- 昼食・おやつ提供及び介助
- 排泄介助
- 移動介助
- アクティビティ・プログラム
- グループワーク（3B体操等）
- 口腔ケア
- 機器を使用した機能訓練・体操

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 

（要介護1）	599円
（要介護2）	708円
（要介護3）	816円
（要介護4）	926円
（要介護5）	1034円
- 入浴加算 54円
- サービス提供体制強化加算Ⅰ 20円
  - 個別機能訓練加算Ⅰ 50円
  - 個別機能訓練加算Ⅱ 60円
  - 中重度者ケア体制加算 48円
- 食事負担 900円

《事業実施日数》 週 6日

《提供時間》 10：15 ～ 15：20

《職員体制》

- ・管理者 1名（常勤兼務1名）
- ・生活相談員 2名（常勤兼務2名）
- ・看護職員 4名（非常勤兼務4名）
- ・介護職員 13名（常勤兼務5名・非常勤兼務8名）
- ・機能訓練指導員 4名（非常勤兼務4名）
- ・運転担当職員 6名（非常勤兼務6名）

《目標に対する成果等》

- ・ケアプランに沿ってサービスの提供を行い、ご利用者の心身の状態の維持、向上のために個々の状態、希望に合わせたプログラムを提供した。
- ・サービスを提供することで、ご家族等の介護負担の軽減を図った。
- ・ケアマネージャー等の関係機関やご家族へ情報提供を行い、連携・協力を図る。
- ・ご利用者を中心に置いた考え方、行動の徹底を図れるように業務改善を行った。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・運動機器を利用したりハビリや機能訓練体操を行い状態の維持、向上を目指した。
- ・ケアプラザを利用して活動している地域ボランティアに講師を依頼し、個別レク（絵手紙・書道）や全体活動（童謡・民謡・歌謡・3B体操）囲碁・麻雀など様々なレクリエーションを提供した。今後も提供できる趣味活動を継続していく予定。また、傾聴などのボランティア、小学生や保育園の訪問、実習の学生等の職員以外の地域の方との交流の機会があるので社会的刺激を受けながら、過ごして頂けることができた。
- ・ドア to ドアの送迎から一歩踏み込んで戸締りの確認をして迎える等、状況に応じた対応を心掛け実施した。

《利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
614	660	670	655	680	619
10月	11月	12月	1月	2月	3月
688	669	639	591	619	672

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 送迎
- 健康管理・相談
- 入浴・入浴介助
- 昼食・おやつ提供及び介助
- 排泄介助
- 移動介助
- アクティビティ・プログラム
- グループワーク（3B体操等）
- 口腔ケア
- 機器を使用した機能訓練・体操

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 

（事業対象者）	1766円
（要支援1）	1766円
（要支援2）	3621円
- サービス提供体制強化加算Ⅰ 78円
- 食事負担 900円

《事業実施日数》 週 6日

《提供時間》 10:15 ~ 15:20

《職員体制》

- ・管理者 1名（常勤兼務1名）
- ・生活相談員 2名（常勤兼務2名）
- ・看護職員 4名（非常勤兼務4名）
- ・介護職員 13名（常勤兼務5名・非常勤兼務8名）
- ・機能訓練指導員 4名（非常勤兼務4名）
- ・運転担当職員 6名（非常勤兼務6名）

《目標に対する成果等》

- ・ケアプランに沿ってサービスの提供を行い、ご利用者の心身の状態の維持、向上のために個々の状態、希望に合わせたプログラムを提供した。
- ・サービスを提供することで、ご家族等の介護負担の軽減を図った。
- ・ケアマネージャー等の関係機関やご家族へ情報提供を行い、連携・協力を図る。
- ・ご利用者を中心に置いた考え方、行動の徹底を図れるように業務改善を行った。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・運動機器を利用したりハビリや機能訓練体操を行い状態の維持、向上を目指した。
- ・ケアプラザを利用して活動している地域ボランティアに講師を依頼し、個別レク（絵手紙・書道）や全体活動（童謡・民謡・歌謡・3B体操）囲碁・麻雀など様々なレクリエーションを提供した。今後も提供できる趣味活動を継続していく予定。また、傾聴などのボランティア、小学生や保育園の訪問、実習の学生等の職員以外の地域の方との交流の機会があるので社会的刺激を受けながら、過ごして頂けることができた。
- ・ドア to ドアの送迎から一步踏み込んで戸締りの確認をして迎える等、状況に応じた対応を心掛け実施した。

《利用者実績（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
86	83	85	81	66	68
10月	11月	12月	1月	2月	3月
85	69	60	54	50	64

平成30年度「六ツ川地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	18,917,000	0	18,917,000	18,917,000	0	横浜市より
利用料金収入	0	0	0	0	0	
指定管理料充当 事業	0	0	0	0	0	
自主事業収入	0	0	0	299,500	△ 299,500	シルバーカレッジ教材費、各種講座参加料
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0	0	0	0	0	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
駐車場利用料金収入	0	0	0	0	0	
その他 (指定管理料充当)	0	0	0	0	0	
その他 (施設使用料相当額 法人負担分)	3,185,000	0	3,185,000	3,185,000	0	施設使用料相当額法人負担分
その他 (提案時控除 法人負担分)	0	0	0	0	0	
収入合計	22,102,000	0	22,102,000	22,401,500	△ 299,500	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,450,000	0	10,450,000	10,157,571	292,429	
本俸	7,600,000	0	7,600,000	7,300,188	299,812	本俸
社会保険料	900,000	0	900,000	939,522	△ 39,522	健康保険、厚生年金
手当計	1,600,000	0	1,600,000	1,783,782	△ 183,782	期末手当、通勤手当他
健康診断費	50,000	0	50,000	26,379	23,621	健康診断
勤労者福祉共済掛金	50,000	0	50,000	76,950	△ 26,950	年金共済
退職給付引当金繰入額	0	0	0	0	0	
その他	250,000	0	250,000	30,750	219,250	福利厚生費、親睦会補助
事務費	2,800,000	0	2,800,000	1,151,649	1,648,351	
旅費	45,000	0	45,000	16,084	28,916	職員交通費
消耗品費	400,000	0	400,000	393,044	6,956	ペーパータオル、紙コップ、洗剤、除草剤、事務用品
会議購い費	72,000	0	72,000	121,974	△ 49,974	麦茶、コーヒー、職員会議弁当代
印刷製本費	35,000	0	35,000	0	35,000	
通信費	80,000	0	80,000	15,581	64,419	電話、メール便、切手、年賀はがき
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
備品購入費	600,000	0	600,000	90,266	509,734	マット交換
図書購入費	0	0	0	0	0	
施設賠償責任保険	20,000	0	20,000	0	20,000	
職員等研修費	10,000	0	10,000	0	10,000	
振込手数料	10,000	0	10,000	4,840	5,160	振込手数料
リース料	1,400,000	0	1,400,000	362,880	1,037,120	車両リース
手数料	0	0	0	0	0	
地域協力費	100,000	0	100,000	115,000	△ 15,000	自治会お茶、協賛金
その他	28,000	0	28,000	31,980	△ 3,980	細菌検査、印紙
事業費	642,000	0	642,000	648,776	△ 6,776	
運営協議会経費	42,000	0	42,000	21,790	20,210	運営協議会経費
指定管理料充当 事業	600,000	0	600,000	626,986	△ 26,986	自主事業費用
管理費	7,374,000	0	7,374,000	6,589,170	784,830	
建築物・建築設備点検	0	0	0	0	0	
光熱水費	4,500,000	0	4,500,000	3,853,218	646,782	光熱水費
電気料金	1,300,000	0	1,300,000	1,310,284	△ 10,284	
ガス料金	1,200,000	0	1,200,000	1,152,783	47,217	
水道料金	2,000,000	0	2,000,000	1,390,151	609,849	
清掃費	1,200,000	0	1,200,000	1,030,128	169,872	清掃・植栽管理
修繕費	474,000	0	474,000	594,664	△ 120,664	修繕費
機械設備費	0	0	0	103,204	△ 103,204	施設警備
設備保全費	1,200,000	0	1,200,000	1,007,956	192,044	
空調衛生設備保守	810,000	0	810,000	791,322	18,678	空調点検
消防設備保守	100,000	0	100,000	78,359	21,641	消防用設備点検
電気設備保守	100,000	0	100,000	68,516	31,484	関東保安協会
害虫駆除清掃保守	80,000	0	80,000	33,446	46,554	害虫防除
駐車場設備保全費	0	0	0	0	0	
その他保全費	110,000	0	110,000	36,313	73,687	施設警備
共益費	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
公租公課	836,000	0	836,000	812,605	23,395	
事業所税	0	0	0	0	0	
消費税	836,000	0	836,000	812,605	23,395	消費税
印紙税	0	0	0	0	0	
その他 ( )	0	0	0	0	0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分	0	0	0	0	0	
当該施設分	0	0	0	0	0	
二一ス対応費	0	0	0	0	0	
支出合計	22,102,000	0	22,102,000	19,359,771	2,742,229	
差引	0	0	0	3,041,729	△ 3,041,729	

自主事業費収入	600,000	0	600,000	240,700	359,300	自主事業への参加料等
自主事業費支出	600,000	0	600,000	626,986	△ 26,986	自主事業経費
自主事業収支	0	0	0	△ 386,286	386,286	

管理許可・目的外使用許可収入	0	0	0	0	0	
管理許可・目的外使用許可支出	0	0	0	0	0	
管理許可・目的外使用許可収支	0	0	0	0	0	

**平成30年度「六つ川地域ケアプラザ」**  
**収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括・介護予防・生活支援＞**

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料（包括）	29,716,000	0	29,716,000	29,716,000	0	横浜市より
指定管理料（介護予防）	151,000	0	151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料（生活支援）	5,789,000	0	5,789,000	5,789,000	0	横浜市より
利用料金収入	0	0	0	0	0	
指定管理料充当事業（包括）	0	0	0	0	0	
指定管理料充当事業（介護予防）	0	0	0	0	0	
指定管理料充当事業（生活支援）	0	0	0	0	0	
自主事業収入	0	0	0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0	0	0	0	0	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
駐車場利用収入	0	0	0	0	0	
その他（指定管理充当）	0	0	0	0	0	
その他（提案時控除 法人負担分）	0	0	0	0	0	
<b>収入合計</b>	<b>35,656,000</b>	<b>0</b>	<b>35,656,000</b>	<b>35,656,000</b>	<b>0</b>	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>人件費</b>	<b>30,460,000</b>	<b>0</b>	<b>30,460,000</b>	<b>30,118,837</b>	<b>341,163</b>	
本俸	19,730,000	0	19,730,000	17,015,850	2,714,150	本俸
社会保険料	3,200,000	0	3,200,000	3,488,929	△ 288,929	健康保険、厚生年金
手当計	7,200,000	0	7,200,000	9,188,941	△ 1,988,941	期末手当、通勤手当他
健康診断費	70,000	0	70,000	22,117	47,883	健康診断
勤労者福祉共済掛金	200,000	0	200,000	360,250	△ 160,250	年金共済
退職給付引当金繰入額	0	0	0	0	0	
その他	60,000	0	60,000	42,750	17,250	福利厚生費、親睦会補助
<b>事務費</b>	<b>1,880,000</b>	<b>0</b>	<b>1,880,000</b>	<b>1,494,876</b>	<b>385,124</b>	
旅費	60,000	0	60,000	72,345	△ 12,345	職員交通費
消耗品費	250,000	0	250,000	17,346	232,654	事務用品
会議随費	60,000	0	60,000	5,453	54,547	職員会議弁当
印刷製本費	35,000	0	35,000	0	35,000	
通信費	100,000	0	100,000	10,008	89,992	電話・メール便・切手
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
備品購入費	100,000	0	100,000	129,600	△ 29,600	システムサポート
図書購入費	0	0	0	0	0	
施設賠償責任保険	20,000	0	20,000	0	20,000	
職員等研修費	30,000	0	30,000	5,000	25,000	職員養成研修
振込手数料	10,000	0	10,000	13,200	△ 3,200	振込手数料
リース料	900,000	0	900,000	255,312	644,688	車両リース
手数料	10,000	0	10,000	982,156	△ 972,156	包括職員紹介手数料
地域協力費	0	0	0	0	0	
その他	305,000	0	305,000	4,456	300,544	あったかねっと南年会費
<b>事業費</b>	<b>1,370,000</b>	<b>0</b>	<b>1,370,000</b>	<b>817,494</b>	<b>552,506</b>	
協力医	630,000	0	630,000	504,000	126,000	協力医謝金
指定管理料充当 事業（包括）	280,000	0	280,000	9,079	270,921	地域ケア会議、ケアマネ交流会
指定管理料充当 事業（介護予防）	151,000	0	151,000	151,368	△ 368	介護予防事業費
指定管理料充当 事業（生活支援）	309,000	0	309,000	153,047	155,953	生活支援体制整備事業費
<b>管理費</b>	<b>1,946,000</b>	<b>0</b>	<b>1,946,000</b>	<b>1,560,715</b>	<b>385,285</b>	
建築物・建築設備点検	0	0	0	0	0	
光熱水費	1,240,000	0	1,240,000	1,024,273	215,727	光熱水費
電気料金	360,000	0	360,000	348,303	11,697	
ガス料金	322,000	0	322,000	306,436	15,564	
水道料金	558,000	0	558,000	369,534	188,466	
清掃費	115,000	0	115,000	122,892	△ 7,892	清掃管理
修繕費	126,000	0	126,000	118,184	7,816	修繕費
機械警備費	10,000	0	10,000	27,433	△ 17,433	施設警備
設備保全費	455,000	0	455,000	267,933	187,067	
空調衛生設備保守	250,000	0	250,000	210,349	39,651	空調点検
消防設備保守	25,000	0	25,000	20,829	4,171	消防用設備点検
電気設備保守	20,000	0	20,000	18,213	1,787	関東保安協会
害虫駆除清掃保守	130,000	0	130,000	8,890	121,110	害虫防除
駐車場設備保全費	0	0	0	0	0	
その他保全費	30,000	0	30,000	9,652	20,348	施設警備
共益費	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0	0	0	0	0	
消費税	0	0	0	0	0	
印紙税	0	0	0	0	0	
その他（ ）	0	0	0	0	0	
<b>事務経費（計算根拠を説明欄に記載）</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
本部分	0	0	0	0	0	
当該施設分	0	0	0	0	0	
三ノ沢対応費	0	0	0	0	0	
<b>支出合計</b>	<b>35,656,000</b>	<b>0</b>	<b>35,656,000</b>	<b>33,991,922</b>	<b>1,664,078</b>	
<b>差引</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>1,664,078</b>	<b>△ 1,664,078</b>	

自主事業費収入	740,000	0	740,000	0	740,000	
自主事業費支出	740,000	0	740,000	313,494	426,506	自主事業経費
自主事業収支	0	0	0	△ 313,494	313,494	

管理許可・目的外使用許可収入	0	0	0	0	0	
管理許可・目的外使用許可支出	0	0	0	0	0	
管理許可・目的外使用許可収支	0	0	0	0	0	



★指定管理業務・委託業務として実施している介護保険事業のみ、対象です。

平成30年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名：六ツ川地域ケアプラザ

平成30年4月1日～平成31年3月31日

(単位：千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			予防通所介護・第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入			0	21,504	13,250	8,254	91,039	77,768	13,271	5,871	4,325	1,546
	その他	13,190	13,874	-684	784	224	560	71	191	-120	0	0	0
	介護予防ケアマネジメント費	13,190	13,874	-684			0			0			0
	事業・負担金収入			0			0			0			0
	受託事業			0	784	224	560			0			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
	その他			0			0	71	191	-120			
	<b>収入合計(A)</b>	13,190	13,874	-684	22,288	13,474	8,814	91,110	77,959	13,151	5,871	4,325	1,546
支出	人件費	4,200	2,707	1,493	19,628	14,252	5,376	63,484	56,321	7,163			0
	事務費	80	80	0	893	63	830	4,973	7,186	-2,213			0
	事業費	100	100	0	120	18	102	9,046	9,754	-708			0
	管理費	120	120	0	1,437	213	1,224	7,880	9,230	-1,350			0
	その他	8,000	8,797	-797	160	248	-88	1,310	458	852	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料	8,000	8,797	-797			0			0			0
				0			0			0			0
	その他			0	160	248	-88	1,310	458	852			0
	<b>支出合計(B)</b>	12,500	11,804	696	22,238	14,794	7,444	86,693	82,949	3,744	0	0	0
	<b>収支 (A)-(B)</b>	<b>690</b>	<b>2,070</b>	<b>-1,380</b>	<b>50</b>	<b>-1,320</b>	<b>1,370</b>	<b>4,417</b>	<b>-4,990</b>	<b>9,407</b>	<b>5,871</b>	<b>4,325</b>	<b>1,546</b>

# 平成30年度 自主事業報告書

## 六ツ川地域ケアプラザ

### 地域活動交流事業

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
シルバー カルチャー	(内容) 要介護認定非該当の方対象のミニデイサービス (目的) 高齢者の生きがいづくり	第3木曜日 年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障がい児ダンス 教室「ハッピー ダンス」	(内容) 障がい児ダンス教室 (目的) 小学生～高校生を対象とした余暇支援活動事業	第1,3土曜日 年21回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
網戸張り講座	(内容) 網戸張り教室 (目的) 地域ニーズ (アンケートによる) に応えた教室の 開催	6月 年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
庭木の剪定教室 (新規事業)	(内容) 庭木の剪定 (目的) 地域ニーズ (アンケートによる) に応えた教室の 開催	10月 年1回

# 平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ぴよんぴよんダンス	(内容) 親と子の体操教室 (目的) 親子でスキンシップをはかり母親同士子ども同士の交流や、母親の育児不安の軽減を支援	第1火曜日 年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏休み工作教室	(内容) 夏休み工作教室、低学年は保護者と参加 (目的) 子どもの思い出作りと、ケアプラザの存在を身近に感じてもらう機会の提供	8月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
こどもお菓子作り教室	(内容) 手工芸、料理など手作り教室、低学年は保護者と参加 (目的) 子どもの思い出作りと、ケアプラザの存在を身近に感じてもらう機会の提供	12月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
囲碁将棋サロン	(内容) 囲碁将棋の有段者がメインとなって開催。空きスペースの有効活用 (目的) 団塊の世代を中心として仲間作りの場の提供	毎週火・木・金曜日 152回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
囲碁教室	(内容) 囲碁を通じて、高齢者外出の機会を促す (目的) 高齢者引きこもり予防	毎週土曜日 47回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康街歩き	(内容) ウォーキング (目的) 地域住民の健康増進	4月, 10月 年2回

# 平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防体操 (包括と共催事業)	(内容) 介護予防体操 (目的) 老後の不安解消、健康維持・増進	平成31年2月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
医師が勧める 「生活習慣病予防・特定健診の 勧め」講座	(内容) 医師による生活習慣病予防講座 (目的) 老後の不安解消、健康維持・増進	5月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
落語公演	(内容) ボランティア落語家による公演 (目的) 高齢者、地域住民の趣味娯楽	11月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
よこはまシニア ボランティアポイント登録研修 会	(内容) 事業の説明とボランティア活動についての研修 (目的) ボランティア意欲向上と介護予防	4月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア交流会・懇談会	(内容) 六ツ川ケアプラザエリアで活動されているボランティアの交流・懇談会 (目的) ボランティアネットワーク構築	6月, 11月 年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
貸館大掃除	(内容) 貸館場所の大掃除 (目的) 貸館の管理意識をもってもらいながら、貸館利用 団体同士の交流を図る	12月 年1回

# 平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
貸館利用団体交流会発表会	(内容) 貸館利用団体の活動発表及び、ケアプラザを地域資源として大切にする管理意識をもてるようにする (目的) 貸館利用団体同士の交流の場の提供をし、地域の福祉保健活動の推進を促進させる	平成31年1月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
エコキャップ運動	(内容) ペットボトルキャップを回収し、ゴミなど分別作業をする (目的) ボランティア企画の実施	10月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
脳トレ講座	(内容) 脳トレ講座 (目的) 地域住民の介護予防	第1月曜日 年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
生演奏ミュージックサロン はなみずき	(内容) 地域住民の音楽発表と歌を歌える居場所 (目的) ボランティア企画の実施	第1水曜日 年12回

# 平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おはなしコンサート	(内容) 読み聞かせ会。親と子で参加し、ふれあいが持てる場を提供する (目的) 親子でスキンシップをはかり母親同士子ども同士の交流や、母親の育児不安の軽減を支援	6月, 11月 年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
自治会等への出前講座	(内容) 出前講座 (目的) 健康維持や問題点解決の支援	6月, 7月 年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
大人の手作り教室 「パン作り教室」(新規事業)	(内容) 手工芸、料理など手作り教室 (目的) ケアプラザの存在を身近に感じてもらう機会の提供	10月, 11月 年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
スポーツ体験教室「よくばり無料体験」(六ツ川スポーツ会館と共催)(新規事業)	(内容) メンバー減少の貸館利用団体の体験会 (目的) 貸館利用団体の紹介と体験会を行い、住民同士の交流とメンバー増員につなげる	11月 年1回

# 平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
手芸講座	(内容) 古布を使った小物作り (目的) 地域住民の活動意欲向上	6月 年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアプラザを会場とした地域の祭り検討会	(内容) 地域主体の祭り検討会 (目的) 地域住民同士、ケアプラザとの交流	12月、H31.3月 年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
絵手紙教室	(内容) 絵手紙教室 (目的) 地域住民の趣味活動による意欲向上	6月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護家族の集い	(内容) 介護家族の懇談会 (目的) 介護者の介護ストレス軽減と仲間作り	H31.2月 年1回

# 平成30年度 自主事業報告書

## 六ツ川地域ケアプラザ

### 地域包括支援センター

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護家族の集い	介護家族の支援の一環として、介護をされている家族の意見交換や情報共有、悩みやストレス等を話し合える場を作る。 「介護家族に笑顔を取り戻そう」をテーマに、介護をされている方、介護を終えられた方、これから介護をされる方等を対象に、気軽に参加し話し合えるを場として年4回の「懇談会」を開催する。懇談会にはケアプラザ協力医にも参加していただき、医療に関する話や参加者からの質問に答えていただく時間も設けている。	年4回 H30. 5/25 H30. 7/13 H30. 9/21 H31. 2/22

事業名	目的・内容	実施時期・回数
聖隷横浜病院出張講演会	地域の医療機関と協力し市民公開講座を開催することで、地域密着の医療機関との連携や地域の活性化を図る。今回は「ヒトは血管とともに老いる」をテーマに講座を開いた。講師は聖隷横浜病院 心臓血管センター内科 芦田和博医師。	年1回 H30. 6/12

事業名	目的・内容	実施時期・回数
六ツ川エリアキャラバンメイト連絡会	認知症キャラバンメイト及びサポーター、包括支援センター、生活支援コーディネーターとの連絡会（2カ月に1回）を開催する。認知症サポーター養成講座の予定と報告、キャラバンメイト及びサポーターのスキルアップ研修の企画と開催。キャラバンメイトの活動内容についての話し合い等。	年6回 偶数月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
パワーアップいきいきクラブ憩の家	地域住民の「居場所・たまり場」に福祉、保健、介護の出張相談室を開設した。また、地域の老人会にて介護予防と認知症予防について講座と体操の実技を行った。認知症を正しく理解し自ら健康づくりに取り組む事の大切さを強調する内容とした。	年12回 毎月第2水曜日



# 平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
憩いの家作品展	来客者に対して健康相談・測定会を行い包括の普及活動を行う。事業当日は来客者に健康測定をし自分の体力を知り介護予防普及活動を行った。	年1回 H30. 11/10

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出前講座	友愛活動委員の知識の向上と日ごろの活動支援を目的とし、健康づくりのためのロコモ予防体操を行った。また、徘徊ネットワーク事業の説明・介護保険外サービスについての説明を行った。	年1回 H30. 9/18

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出前講座	地域住民（老人会）を対象に介護予防活動を行った。ハマトレ体操をDVDを見ながら伝授し普及活動を行った。	年2回 H30. 8/9 H30. 9/4

事業名	目的・内容	実施時期・回数
スリーA認知症予防ゲーム教室	目的) エリア内の認知症予防の場の設定。認知症キャラバンメイトや介護予防サポーターのキャリアアップ 内容) NPO法人認知症予防スリーAよこはまかたつむりの会を講師に迎え、スリーA認知症予防ゲーム教室を行った。 (生活支援との共催事業)	全6回のうち2回 H30. 7/6 H30. 7/20

# 平成30年度 自主事業報告書

## 六ツ川地域ケアプラザ

### 生活支援

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ロコトレ体操教室	<p>目的) 六ツ川台周辺の介護予防の場の設定と六ツ川台コミュニティハウスでの体操系サークル活動づくり</p> <p>内容) 講師: 横浜市体育協会認定 市民健康・体力づくり指導者 多夢先生</p> <p>①体幹等を鍛えるロコモ予防体操を試験的に開催。コミハ共催 (講師料は六ツ川台コミハと折半)</p> <p>②教室を継続。区役所・包括・生活支援と共に立上げ支援。</p> <p>○第1・第3水曜日の14時～15時</p> <p>○初回から講師料4回分、保険を4回分ケアプラザで負担。</p> <p>○広報での参加者募集等で支援。</p> <p>③元気づくりステーション事業に移行。生活支援の関わり終了</p>	<p>①試験講座: 平成30年6月6日 6月20日 計2回</p> <p>②継続支援講座: 平成30年7月4日 7月18日 8月1日 9月5日 計4回 他第1・第3水曜日に実施</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
スリーA認知症予防ゲーム教室	<p>目的) エリア内の認知症予防の場の設定。認知症キャラバンメイトや介護予防サポーターのキャリアアップ</p> <p>内容) NPO法人認知症予防スリーAよこはまかたつむりの会を講師に迎え、スリーA認知症予防ゲーム教室を行った。(包括介護予防講座と共催)</p>	<p>平成30年7月6日 7月20日 7月27日 8月3日 計4回 (7月6日/20日 介護予防予算)</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
定期的なスリーAゲーム教室開催の支援	<p>目的) 認知症予防の場の設定。上記教室を受けた方の実践の場の設定</p> <p>内容) 認知症予防スリーAプログラムの実践の継続。区役所・地域包括・生活支援にて活動の支援 下記の内容を取り決め、実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアによるプログラムの実践と茶話会の実施</li> <li>・茶話会費用のために会費徴収。会計を担ってもらった。</li> <li>・広報活動と受付先を担当</li> </ul>	<p>10月12日 11月9日 12月14日 1月11日 2月8日 3月8日 計6回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
スリーA認知症予防ゲーム教室リーダー講習会 (1丁目コミュニティハウス)	<p>目的) 六ツ川一丁目コミュニティハウスに定期的にスリーA講座の開催の場を設定。ゲームリーダーの実践者の養成。</p> <p>内容) NPO法人NPO法人認知症予防スリーAよこはまかたつむりの会を講師に迎え、スリーA認知症予防ゲーム教室の紹介とリーダー講座を行った。</p>	<p>平成31年2月22日 3月22日 計2回</p>

# 平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
みんなで考えよう認知症 「認知症と共に歩む地域での暮らし」 講演とワークショップ	目的) 地域で認知症の方が暮らしていくための土壌づくり。認知症の理解。 内容) 講義とワークショップを下記のとおり開催した。 ・認知症の人と家族の会神奈川県支部世話人 三橋良博氏による若年認知症の家族の体験をふまえた講話 ・社会福祉士 三枝美和子氏による「旅のことばワークショップ」の開催。	平成31年2月23日 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなで考えよう地域のお出かけを考える会議	目的) 高齢者等の移動に関する地域での取り組みについて興味を持つ方、やってみたいと考える方の発掘。 内容) 講義とワークショップを全3回と実際に移動支援を実践しているところの見学会を企画・開催。第1回目を3月に実施した。 ・NPO法人かながわ福祉移動サービスネットワーク 清水弘子氏による講義を行った。 ・地域の地図を使用したワークショップを行った。	平成31年3月9日 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
六ツ川リビングラボにおける生活支援体制整備周知	目的) 生活支援体制整備事業の周知および地域の商店等に出来る事についての提案 内容) 六ツ川にあるトミーズカフェにおいて実施された六ツ川リビングラボに参加し、生活支援体制整備のプレゼンを実施した。	平成31年1月26日 1回

# 平成30年度 自主事業収支報告書

## 六ツ川地域ケアプラザ

### 地域活動交流事業

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
シルバーカルチャー (年12回実施)	高齢者	227,736	地活	22,236	169,900	35,600	11,110	199,872	16,754
	300名		包括						
	750円		介護						
			生活						
障がい児ダンス教室 (年24回実施)	地域(障害)	63,750	地活	60,050	3,700	0	60,018	3,732	0
	240名		包括						
	年1回300円		介護						
			生活						
網戸張り教室 (年1回実施)	地域	5,000	地活	3,000	2,000	0	0	5,000	0
	6名		包括						
	500円		介護						
			生活						
庭木の剪定教室 (年1回実施) (新規事業)	地域	5,490	地活	5,490	0	0	0	5,000	490
	10人		包括						
	0円		介護						
			生活						
びよんびよんダンス (年12回実施)	子どもと保護者	48,940	地活	48,940	0	0	40,092	0	8,848
	360名		包括						
	0円		介護						
			生活						
夏休み工作教室 (年1回実施)	小学生	12,505	地活	5,505	7,000	0	0	12,000	505
	20名		包括						
	500円		介護						
			生活						
こどもお菓子作り教室 (年1回実施)	小学生	4,885	地活	85	4,800	0	0	4,885	0
	8名		包括						
	500円		介護						
			生活						
囲碁将棋サロン (週3回実施)	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	1520名		包括						
	0円		介護						
			生活						
囲碁教室 (週1回実施)	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	250名		包括						
	0円		介護						
			生活						
健康街歩き (年2回実施)	地域	5,327	地活	5,327	0	0	0	0	5,327
	40名		包括						
	0円		介護						
			生活						
介護予防体操 (年1回実施)	ボランティア	0	地活	0	0	0	0	0	0
	60名		包括						
	0円		介護						
			生活						
医師が勧める「生活習慣病予防・特定健診の勧め」講座 (年1回実施)	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	30名		包括						
	0円		介護						
			生活						

## 平成30年度 自主事業収支報告書

落語公演 (年1回実施)	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	20名		包括						
	0円		介護						
			生活						
よこはまシニアボランティアポイント登録研修会 (年1回実施)	ボランティア	0	地活	0	0	0	0	0	0
	60名		包括						
	0円		介護						
			生活						
ボランティア交流会 (年1回実施)	ボランティア	77,182	地活	77,182	0	0	0	77,182	0
	60名		包括						
	0円		介護						
			生活						
ボランティア懇談会 (年1回実施)	ボランティア	0	地活	0	0	0	0	0	0
	50名		包括						
	0円		介護						
			生活						
貸館大掃除 (年1回実施)	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	50名		包括						
	0円		介護						
			生活						
貸館利用団体交流発表会 (年1回実施)	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	50名		包括						
	0円		介護						
			生活						
エコキャップ運動	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	10名		包括						
	0円		介護						
			生活						
脳トレ勉強会 (年12回実施)	地域	66,660	地活	56,960	9,700	0	66,660	0	0
	96名		包括						
	100円		介護						
			生活						
生演奏ミュージックサロン はなみずき (年12回実施)	地域	55,568	地活	55,568	0	0	0	48,000	7,568
	480名		包括						
	0円		介護						
			生活						
おはなしコンサート 年2回	地域	6,000	地活	6,000	0	0	0	6,000	0
	40名		包括						
	0円		介護						
			生活						
自治会等への出前講座	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	40名		包括						
	0円		介護						
			生活						
大人の手作り教室「パン作り教室」 (新規事業)	地域	21,101	地活	13,101	8,000	0	11,110	9,991	0
	20名		包括						
	500円		介護						
			生活						
スポーツ体験教室「よくばり無料体験」 (六ツ川スポーツ会館と共催) (新規事業)	地域	4,000	地活	4,000	0	0	0	4,000	0
	30名		包括						
	0円		介護						
			生活						
手芸講座	地域	9,755	地活	9,755	0	0	5,555	4,200	0
	10名		包括						
	0円		介護						
			生活						

## 平成30年度 自主事業収支報告書

ケアプラザを会場とした 地域の祭り検討会	地域	6,500	地活	6,500	0	0	0	6,500	0	
	40名		包括							
	0円		介護							
			生活							
絵手紙教室	地域	5,555	地活	5,555	0	0	5,555	0	0	
	20名		包括							
	0円		介護							
			生活							
介護家族の集い	地域	1,032	地活	1,032	0	0	0	1,032	0	
	10名		包括							
	0円		介護							
			生活							
		626,986			386,286	205,100	35,600	200,100	387,394	39,492

事業ごとに別紙に記載してください。

# 平成30年度 自主事業収支報告書

## 六ツ川地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額						
	②募集人数	総経費	収入			支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他
出前講座 さくら会	高齢者	12535	地活	12535	0	8,000	4535	0
	30名		包括					
	なし		介護					
			生活					
出前講座 サロン大野	高齢者	13246	地活	13246	0	8,000	5246	0
	30名		包括					
	なし		介護					
			生活					
出前講座 横浜サウススクエア	地域住民	11630	地活	11630	0	8,000	3630	0
	20名		包括					
	なし		介護					
			生活					
出前講座 大池ふれあい友の会	高齢者	15216	地活	15216	0	15,000	0	216
	30名		包括					
	なし		介護					
			生活					
出前講座 こもれび	高齢者	14000	地活	14000	0	8000	6000	0
	30名		包括					
	なし		介護					
			生活					
出前講座 鶴寿会	高齢者	10550	地活	10550	0	10000	550	0
	30名		包括					
	なし		介護					
			生活					
介護予防普及啓発	高齢者	53975	地活	53075	0	0	53975	0
	30名		包括					
	なし		介護					
			生活					
スリーA認知症予防ゲーム教室	高齢者	20216	地活	20216	0	20000	0	216
	22名		包括					
	なし		介護					
			生活					

事業ごとに別紙に記載してください。

# 平成30年度 自主事業収支報告書

## 六ツ川地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
ロコトレ体操教室	①60歳以上の地域の方	27240	地活						
	②20名		包括						
	③無し		介護						
			生活	27240	0	0	25000	0	2240
スリーA認知症 予防ゲーム教室	①地域の方	28476	地活						
	②25名		包括						
	③無し		介護						
			生活	28476	0	0	20000	4900	3576
定期的なスリーA ゲーム教室開催の支援	①地域の方	0	地活						
	②25名		包括						
	③無し		介護						
			生活	0	0	0	0	0	0
スリーA認知症予防ゲーム 教室リーダー講習会 (1丁目コミュニティハウス)	①地域の方	26394	地活						
	②20名		包括						
	③無し		介護						
			生活	26394	0	0	20000	2514	3880
みんなで考えよう認知症 「認知症と共に歩む地域 での暮らし」 講演とワークショップ	①地域の方	27796	地活						
	②20名		包括						
	③無し		介護						
			生活	27796	0	0	9000	2600	16196
みんなで考えよう地域の お出かけを考える会議	①地域の方	17760	地活						
	②20名		包括						
	③無し		介護						
			生活	17760	0	0	15000	432	2328
六ツ川リビングラボにお ける生活支援体制整備 周知	①リビングラボ参加者	25381	地活						
	②20名		包括						
	③無し		介護						
			生活	25381	0	0	0	2860	22521

事業ごとに別紙に記載してください。